



一人一人が自信を付ける実りの秋

園長 河原 宏子

後期始業式に、一年の残り半分が始まることや次の学年へ向かう様々な準備が始まることを子供たちに話しました。そのことを一人一人が受け止め、意欲をもって毎日を過ごしていることが感じられます。

10月11日に実施された運動会でも、その気持ちが表れていたと思います。年長組は、全ての競技に全力で臨んでいました。リズム表現では、心をつにして踊る達成感を味わいました。タイヤ引きでは、自分の力とみんなの力を合わせ頑張って力を出し切ることの満足感を感じました。リレーでは、抜きつ抜かれつのデッドヒートを繰り返し、確実に一人一人が頑張りが、次の友達へとバトンをつなぐ気持ちの一体感を学んでいました。年少組は、友達や先生と一緒にかけっこやダンス、玉入れをし、みんなと一緒に活動することの楽しさ、満足感を知りました。一人一人の輝きが、見ている者たちに感動を与えてくれました。ご来賓の方からも、「いい運動会でしたね。」「先生や子供たちがにこにこ笑顔で素敵な運動会でした。」という声をいただきました。子供たちの成長が、運動会を通して大きな成果として表れたことを嬉しく思います。

年少組は、運動会が終わった途端、年長組が表現した踊りやリレーを行い始めました。あこがれの年長組の気持ちを受け継ぎ、実践へとつながっています。

大きな行事の終わった後の余韻を楽しみながら、自然と次の環境を整えていきます。運動会後の「花やしき」の遠足を経験し、これから両クラスともに「緑フェスティバル」へと準備を進めています。年長組はグループで考え、アイディアを出し合い、イメージを共通にし、製作したり、遊びを考えたりということに向かっています。この意図的・計画的な教育の営みの中で、運動会で身に付けた自信がまた一歩進んだ形で表現されることを期待します。保護者の皆様には、お客様になって参加していただきます。子供たちが何を考え、何を楽しみ、どんな表現力で取り組んでいるか、遊びを共有して子供たちの思いを感じ取っていただければと思います。



今月のねらい

<年少ゆり組>

- ・自分の思いを言葉や動きで伝えたり、相手の言動を意識したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- ・学級のみんなでする活動の中で、自分なりにイメージをもったり、考えたり工夫したりする楽しさを感じる。

<年長すみれ組>

- ・共通の目的に向けて自分なりにイメージを広げ、友達と考えを伝え合ったり、相談したりしながら活動を進める喜びややり遂げた満足感を味わう。
- ・自分の目標に向かってくり返し取り組んだり、友達と一緒に思い切り体を動かしたりする楽しさを味わう。

園だよりや幼稚園での最近の様子を
ホームページにて配信しています。
ご覧ください。



緑幼稚園 HP
QRコード